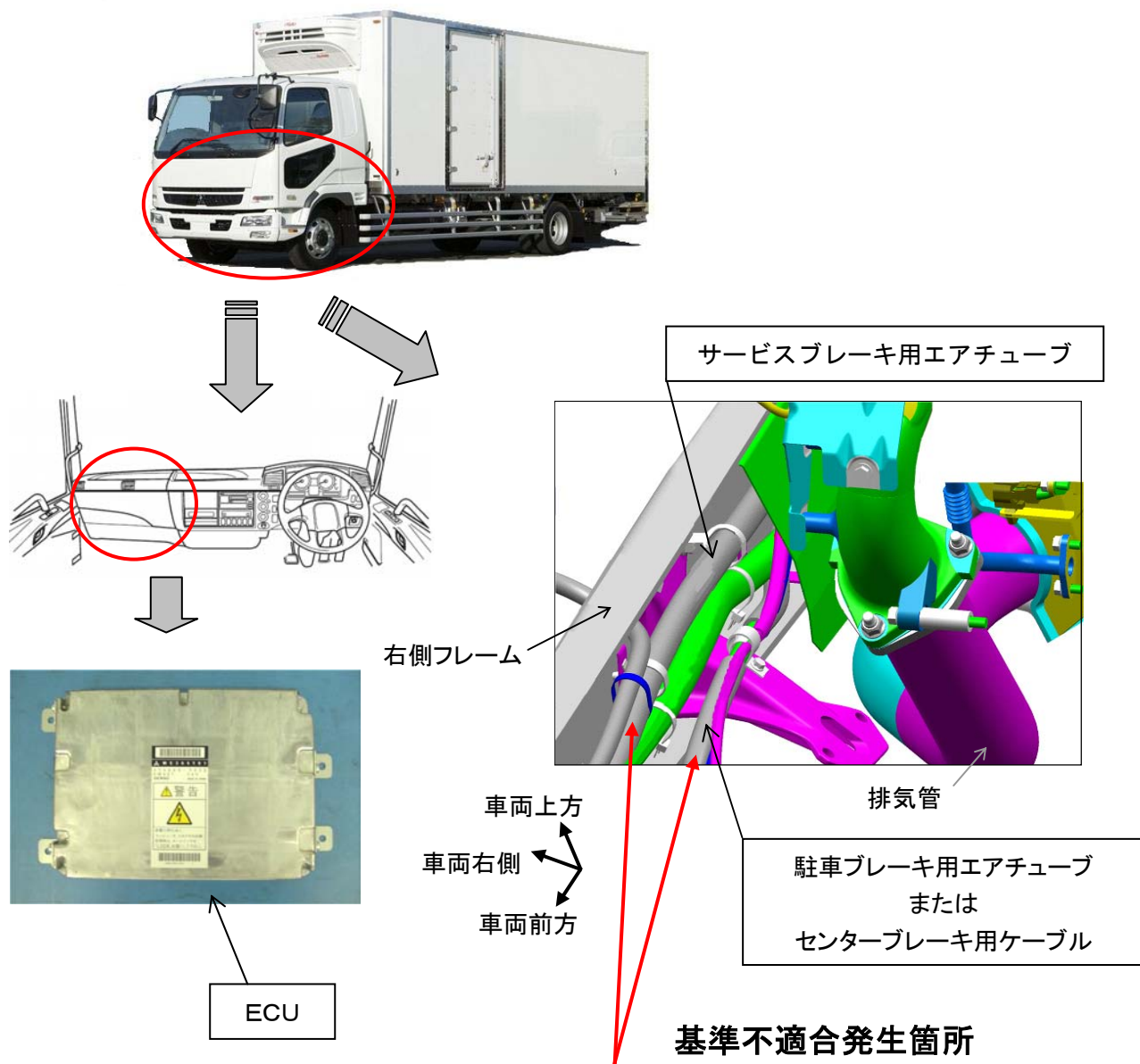


改善箇所説明図



冷凍・冷蔵用等に使用するコンプレッサを搭載した車両において、再生制御式DPFの再生制御プログラムが不適切なため、停車中に排気管付近に配索されたサービスブレーキ用エアチューブ及び駐車ブレーキ用エアチューブ又はセンターブレーキ用ケーブルが高温になる場合がある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、エアチューブやケーブルが溶損し、制動力の低下及び駐車ブレーキの作動不良となるおそれがある。

改善措置の内容

全車両、再生制御式DPFの再生制御プログラムを変更した対策ECUに交換するとともに、

- ① 3コンプレッサ搭載車両及び2コンプレッサ搭載のベッドレス車両は、エアチューブを新品と交換する。
- ② センターブレーキ付車両は、駐車ブレーキレバーの作動確認と駐車ブレーキの制動力を測定し、不具合がある場合はセンターブレーキ用ケーブルを新品と交換する。

注：□は、交換部品を示す。

識別：作業完了車には、助手席リヤドアピラーストラライカー付近に「MT49」の文字が記載された白黄色のシールを貼付ける。